

「ケーブルコンベンション2024」

神谷 直亮

日本ケーブルテレビ連盟、日本CATV技術協会、衛星放送協会の業界3団体が主催した「ケーブルコンベンション2024」及び関連イベント「ケーブル技術ショー2024」が、7月18日と19日に東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催された。メインテーマに「未来に向けて、ひとつにつながる（Unite for the Future）」を掲げた展示会場には、94社・団体が出展していた。このテーマを掲げた理由については、「年始に発生した能登半島地震をうけて、ケーブル業界が一致団結してあらゆる課題や困難に立ち向かう」という意味が込められているという。

コンベンション終了後の発表によれば、今年の入場者数は12,586人で、前年に比べて1,885人増えている。

熱気にあふれた展示会場を一回りして気づいたことが4つあった。

まず、多種多様なカメラが目についた。今回ブースでカメラを紹介したのは、池上通信機、パナソニックコネク、伊藤忠ケーブルシステム、マスプロ電工、DXアンテナの5社である。

池上通信機は、4K/HDポータブルカメラシステム「UHK-X700」を前面に押し出し、最小型2M/Eコンパクトスイッチャ「CSS-400」、「MuPS-5000」シリーズの小型3Uスイッチャと共に売り込んでいた。



写真1 池上通信機は、4K/HDポータブルカメラシステム「UHK-X700」を前面に押し出して出展した。

ブースの担当者によれば、「UHK-X700」カメラは、「新開発グローバルシャッター対応のCMOSセンサを採用しており、スポーツ中継やライブイベントなど動きの速い収録時に高い効果を発揮する」とのことであった。さらに今年の「NABショー」で注目を浴びたHDポータブルカメラ「HDK-X500」について、「間もなく出荷を開始する」と付け加えていた。

パナソニックコネクのブースを飾ったのは、4Kハンドヘルドカメラレコーダー「AG-CX350」であった。担当者の説明によれば、「約1503万画素の高感度1.0型MOSセンサを搭載している。UHD60p/50p信号を10ビットでメモリーカードに記録が可能」とのことであった。

伊藤忠ケーブルシステムは、4つのレンズを搭載して高解像度のパノラマ撮影が可能な「Pixellot S1」カメラを披露して目を引いた。ブースの担当者は、「屋内、屋外のスポーツ撮影に最適なモデル」と語っていた。今回製品の展示はなかったが、Pixellotのラインナップとしては、「S1」の他に「S2」「S3」「Double Play」があるという。中でも野球専用のAIカメラとして売りに出している「Double Play」は、「映像を活用する地域のスポーツ振興に最適」と推奨していた。

マスプロ電工は、ワイヤレスカメラ「WC3A-BC」「WC3A-BCL」を目玉にし



写真2 パナソニックコネクは、4Kハンドヘルドカメラレコーダー「AG-CX350」をブースに飾っていた。

て出展した。前者はセンサーライトなしで、後者は最大1000lmのセンサーライトに加えて通話機能と警告機能が付いている。カメラの画素数を聞いてみたら「約300万」とのことであった。

DXアンテナは、同社の西神テクノロジーセンターで製作している「DELGATEC」ブランドのネットワークカメラシステムのPRに余念がなかった。固定焦点ドーム型、固定焦点バレット型、屋内・屋外用PTZカメラなど6種が紹介された。これらのネットワークカメラ以外に特に目を引いたのは、ウェアラブル対応のWebカメラ「UCAM-CW50ABWH」だ。リモートでの作業支援など遠隔業務用に最適で、防塵・防水設計が施されている。カメラの画素数とフレームレートを聞いてみたら「500万画素、最大フレームレート30fps」との回答であった。

次いで、衛星通信・衛星放送事業者のスカパーJSAT社が初出展を果たした。同社は、東京都江東区に「スカパー東京メディアセンター」を所有しており、スタジオ内に第1スタジオとSUB（広さ40坪）、第2スタジオとSUB（広さ40坪）、第3スタジオとSUB（広さ60坪）がある。今回、同社のブースでは、これらのハイスペックスタジオのレンタルサービスの提案が行われ、来場者の関心を呼んでいた。ブースの壁面に張り出されたレンタル料金を見ると「スタジオ + SUB」の一日料金（利用開始から8時間）は400,000円であった。

さらに、「どうする？ 次の一手」をテーマに掲げたシンクレイヤ社が、目玉のPONソリューションと10Gソリューションに加えて、AR（拡張現実）を利用した2件の地域活性化ソリューションのデモを行って来場者の意表を突いた。1件は、酒びんの裏に張り付けたQRコードにスマホをかざすことで、醸造元の見学が実現するという

ARのデモで、もう1件は、三重県伊勢市
おかげ横丁で今秋から開始予定というAR
観光サービスの紹介であった。

来場者の意表を突いたもう1件は、J:
COM社による低軌道周回衛星「スターリ
ンク」の売込みである。今回、同社のブ
ースでは、「スターリンク」専用の送受信平
面アンテナとWiFiキットが、ジャクリ
(Jackery)社製のポータブル電源「Solar
Generator」と共に紹介された。ケーブル
テレビショーで衛星通信を売込む目的を聞
いてみたら、「BCP対策。不感地帯での通
信確保。短納期でのインフラの構築」の3
つを挙げていた。

なお、アンテナに関しては、上述した「ス
ターリンク」の他に、日本アンテナとマス
プロ電工が日本の衛星放送用のアンテナを
出展していた。

日本アンテナは、BS/110度CS共用
受信用の融雪装置付きアンテナを展示して
「温暖化により大雪や湿り雪が増加してい
るので着雪障害に備える必要がある。8度以
下になると自動でヒーターが作動して急な
降雪にも対応できるようにした」と説明し
ていた。右左旋円偏波対応の75cm型と
120cm型の2種を用意しているという。
マスプロ電工は、最大風速90m/sに耐え
る超高層ビル用アンテナのPRに余念がな
かった。口径75cm、100cm、120cm
の3種があり、いずれも4K 8K衛星放送
を受信できる。

上述した各社以外では、ミハル通信、日
本デジタル配信 (JDS)、サイバー・ネット・
コミュニケーションズ (Cynet) のブースが
目に留まった。

ケーブルコンベンション常連のミハル通
信は、「ELL 4K 8K HEVC エンコーダ・デ
コーダ」「ELL Lite 超低遅延映像圧縮伝送
システム」「光ファイバー増幅器」「マルチ
ポート型光ファイバー増幅器」など盛りだ
くさんのデモを実施していた。

JDSは、「地域の魅力、つなげる、つな
がる」をテーマに独自の「Satonoka 4K/
TV」プロジェクトを推進している。今回
のブースでは、「長岡まつり大花火大会



写真3 伊藤忠ケーブルシステムは、高解像度のパノラマ撮
影が可能な「Pixellot S1」カメラを出展して目を引いた。

2024」「2024 徳島市阿波おどり」「第
65回東京高円寺阿波おどり」など、すで
に生中継を行った番組の再放送を行ってア
ピールしていた。また、最近のプロジェクト
として「The Craft Sake ~信州編~地
域の銘酒を訪ねて」を長野県内のケーブル
テレビ事業者と共同制作して全国放送を
行った実績を強調していた。

Cynet社(本社:三重県四日市市)は、「AI
チャットボット」「AIボイスボット」「AI音
声認識&自動要約」「コールセンターサー
ビス」を4本柱にした売込みを行って来場者
の注目を浴びた。「AIチャットボット」では、
お客の「いくらかりますか」「利用料金を
教えて」といった質問に対し、AIエンジン
「IBM Watson」を駆使して「月額〇〇です」
「初期費用は不要です」などの回答を行うこ
とができる。また、Cynet導入のメリット
については、「ワード登録数が約5,800語、
AI回答率が約82%の実績がある」と強調
していた。

最後にかねてか
ら気になっていたサテライトコ
ミュニケーション
ズネットワーク
(SCN)社のブ
ースを覗いてみた。
鳥取県米子市に本
社を構えるSCN
社は、現在「線状
降水帯予測情報配



写真4 初出展を飾ったスカパーJSAT社は、同社の東京
スタジオのレンタルサービスを売り込んでいた。

信サービス」に力を入れている。サービス
の特徴としては、「最大30分先の発生予測」
「指定エリアに合わせた予測画像配信」「コ
ミュニティチャンネルのL字システムの提
供」が挙げられる。

気になっていた社名についてブースで話
を聞いてみると「当初は衛星配信事業を
行うために1993年に創業され、JCSAT
社のJCSAT-3衛星が1995年に打ち上げ
られたのを契機に、全国各地のCATV局向
けに衛星配信や中継サービスを始めた。し
かし衛星ネットワークのコストが高いため、
現在はインターネットを駆使するサービ
スを主に提供している。サテライトコミュ
ニケーションという社名は、歴史的な意味合
いがあるので残したままになっている」と
の回答であった。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
日本衛星ビジネス協会 理事

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員
1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下(地下駐車場可)
3.6KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション
国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG
HD TV, 3D TV and IP-OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>

設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125